

2011年3月期第2四半期決算説明会資料

日本電子株式会社

代表取締役社長 栗原 権右衛門

2010.11.26



- ① 2011年3月期第2四半期決算の概要
- ② 通期業績予想
- ③ 中期経営計画 「 CHALLENGE 5 」 進捗
- ④ 各事業の動向とトピックス



① 2011年3月期第2四半期決算の概要

Global Solution Provider for Advanced Technology

JEOL

1. 対前年同期比較
2. セグメント別分析



対前年同期比較

Global Solution Provider for Advanced Technology

JEOL

(百万円)	2009FY上期実績	2010FY上期実績	増減
売上高	35,456	28,931	△ 6,525
売上総利益	10,161	8,370	△ 1,791
(原価率)	(71.3%)	(71.1%)	(△ 0.2%)
営業利益	△ 2,240	△ 2,931	△ 691

■ 営業利益悪化(△ 691)の要因

- 売上減による悪化 △ 1,590
- 原価率の改善 770
- 円高による悪化 △ 800
- 販売費・一般管理費の減による改善 944
- 開発研究費の減による改善 156
- その他 △ 171



セグメント別分析

Global Solution Provider for Advanced Technology



(百万円)	2009FY上期実績		2010FY上期実績	
	売上	営業利益	売上	営業利益
理科学・計測機器	23,736	△ 433	19,900	△ 842
産業機器	4,907	△ 733	2,643	△ 1,198
医用機器	6,813	648	6,388	624
調整額	-	△ 1,722	-	△ 1,515
合計	35,456	△ 2,240	28,931	△ 2,931



[① - (1)(2)] [② - (1)(2)(3)] [③ - (1)(2)(3)(4)(5)] [④ - (1)(2)(3)(4)]

② 通期業績予想

Global Solution Provider for Advanced Technology

JEOL

1. 年間見通し PL
2. 過年度のトレンド（受注・受注残）
3. 配当の状況



(百万円)	2010FY予想
売上高	81,000
営業利益	1,700
経常利益	1,000

為替レート (下期は想定)	2010FY下期
ドル	85円
ユーロ	110円

(百万円)	2010FY年間
設備投資	900
減価償却	3,400

■ 見通しは計画から修正なし

好調な受注を追い風に、売上の確保と抜本的なコスト構造見直しにより、当初計画を完遂する



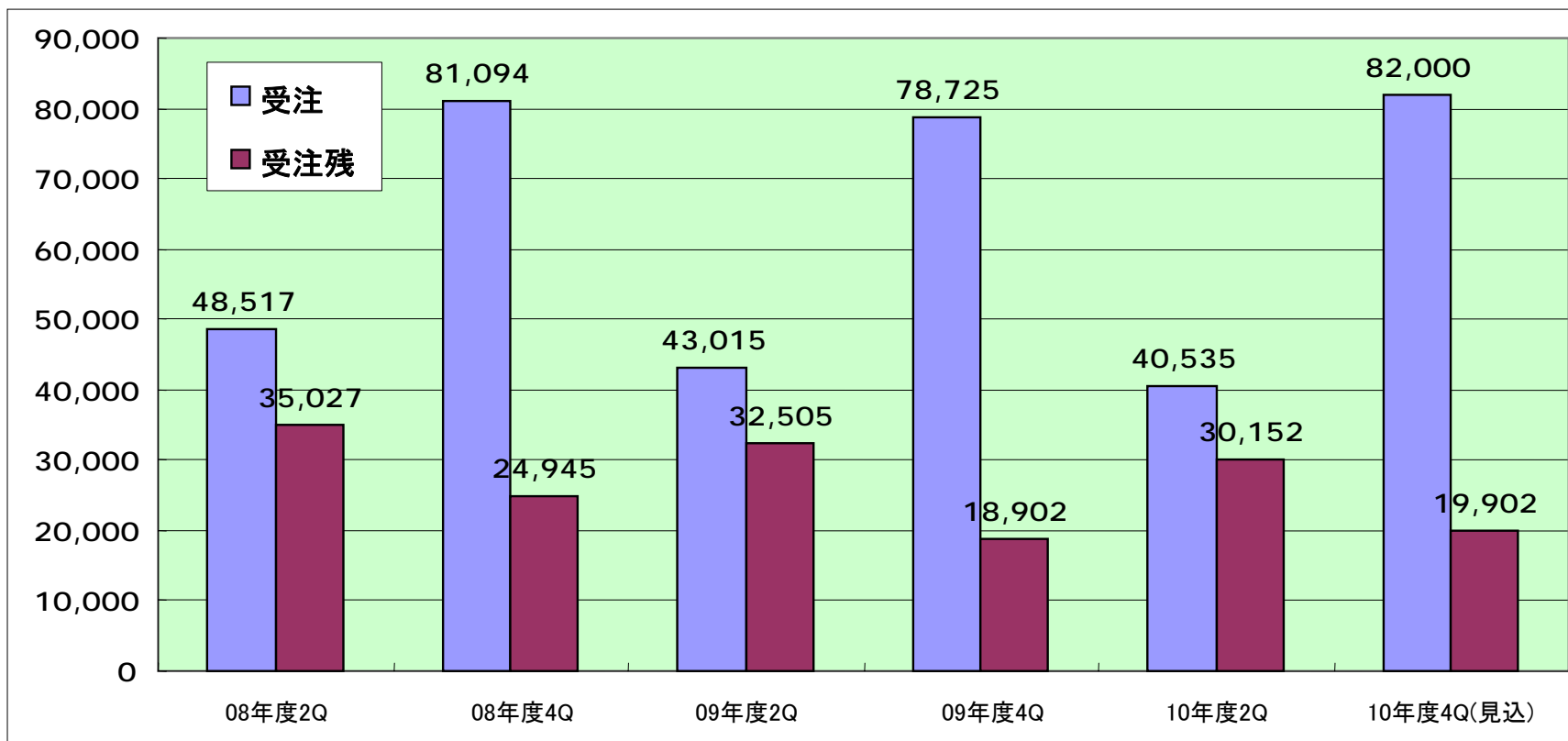
過年度のトレンド（受注・受注残）

Global Solution Provider for Advanced Technology



受注を確保し、計画売上を達成する

(百万円)

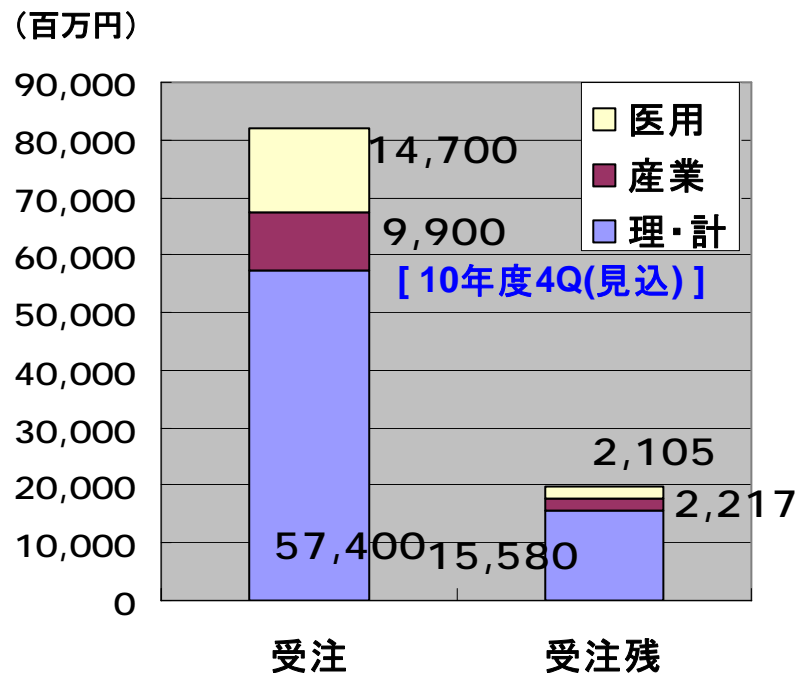
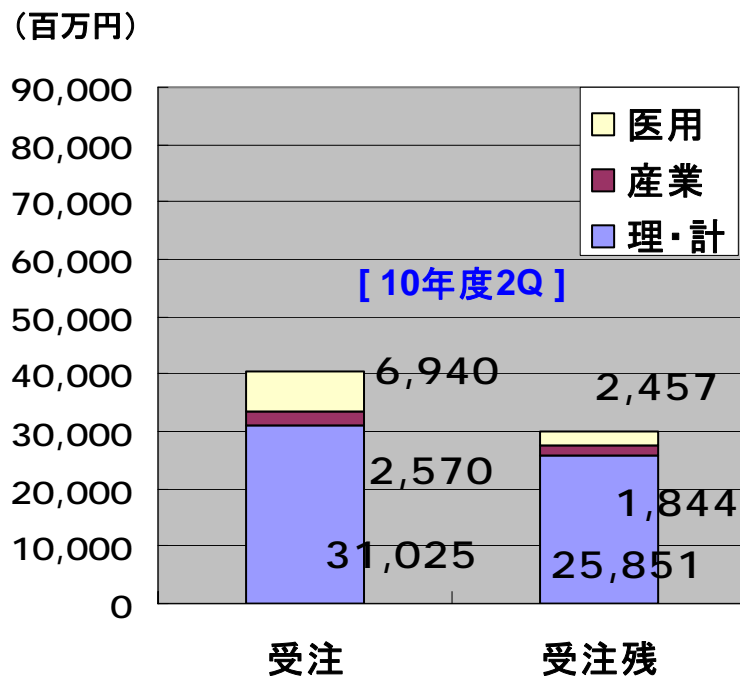


過年度のトレンド（受注・受注残）

Global Solution Provider for Advanced Technology



受注・受注残ともに
理科学・計測機器がコア

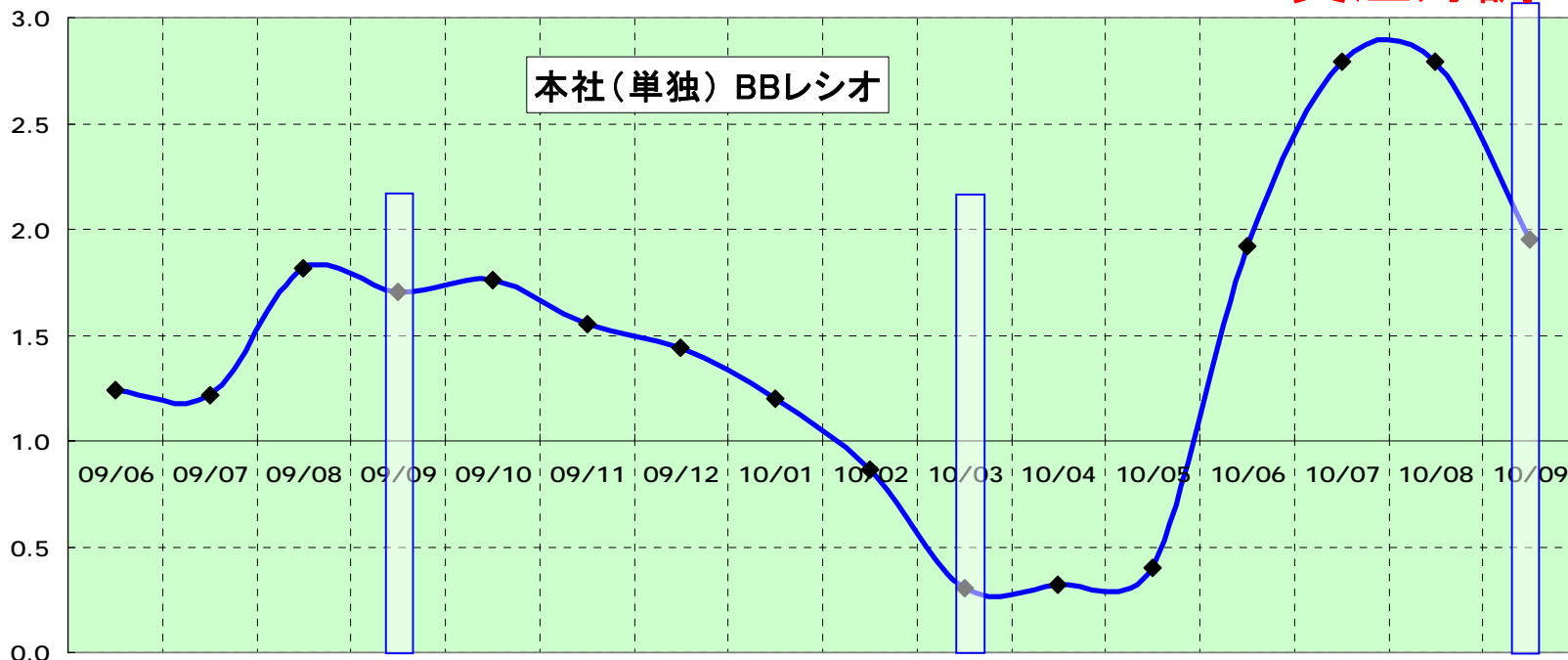


過年度のトレンド（受注・受注残）

Global Solution Provider for Advanced Technology



1を上回っており、
受注好調



2008年度

(中間: 1株当たり 2.5円)

(期末: 1株当たり 1.5円)

--- 通期: 1株当たり 4.0円 ---

2009年度

(中間: 1株当たり 2.5円)

(期末: 1株当たり 1.5円)

--- 通期: 1株当たり 4.0円 ---

2010年度

(中間: 1株当たり 2円)

(期末: 1株当たり 2円)

--- 通期: 1株当たり 4.0円 ---



1. 経営構造改革の推進
2. 研究開発力の強化
3. ソリューションビジネスの強化
4. 新興国市場の深耕
5. サプライチェーンの強化



経営構造改革の推進（5大改革）

Global Solution Provider for Advanced Technology



1. 生産コスト削減

- ・加工、組立て拠点の集約

2. 固定費削減

- ・早期退職募集、自然減による人員削減

⇒2009年3月 3,472人を 2011年3月 3,142人(見込)へ

⇒退職金及び加算金の費用17億円は土地の売却で相殺

⇒今年度への収益改善影響額は約8億円(原価2億円、販管費6億円)

3. 組織・人員体制の見直し

- ・経営資源の集中および重複機能の排除によるグループ全体の最適化、効率化

⇒ 国内関係会社5社を本社へ統合

4. 事業の再構築



- ・事業統合、外部提携、事業規模見直し

5. 特別プロジェクトチームの編成



- ・新人事制度の検討、導入の実効性を高めるために人事制度改革チームを編成





[選択と集中により、効率良く製品開発へ経営資源を投入]

市場へ投入した製品群	特徴
<p>JEM-ARM200F</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・照射系球面収差補正装置を標準搭載、商用電子顕微鏡として世界最高レベルの走査透過像(STEM-HAADF)分解能 0.08nm を実現
<p>JASM-6200 ClairScope™</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・完全な大気圧下での SEM 観察を実現 ・光学顕微鏡と同一視野を観察可能 ・試料室が開放されているため、試薬操作による物理/化学現象などの観察が可能




市場へ投入した製品群	特徴
<p data-bbox="344 411 620 521">BioMajesty[®] JCA-BM6070</p> 	<ul data-bbox="801 372 1509 901" style="list-style-type: none">・世界最高速シングルマルチ 2,400テスト/時のハイスループット・コストパフォーマンス 最少反応液量 60μL での分析・操作部を一体化したコンパクトフォルム 2009年度「グッドデザイン賞」受賞・大容量試薬ターンテーブル搭載・かんたんインターフェイス 大きな操作ボタン&タッチパネル
<p data-bbox="363 936 601 1046">SpiralTOF JMS-S3000</p> 	<ul data-bbox="801 1005 1620 1258" style="list-style-type: none">・業界唯一のSpiralTOF型イオン光学系を 採用したMALDI-TOFMS・広い分子量範囲での高質量分解能と 高質量精度を実現



市場へ投入した製品群	特徴
<p>InTouchScope JSM-6010LA</p> 	<p>新しいSEMスタイル 直感的に操作できるモバイルSEM</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチタッチテクノロジー（新開発の操作画面）と最新の操作ソフトで直感的操作を実現 ・高画質でのSEM観察とEDS元素分析が容易に
<p>JEM-2800</p> 	<p>マルチ解析電子顕微鏡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナノメートルレベルの構造解析および分析結果を迅速に得られる新しいタイプのハイスループット電子顕微鏡



市場へ投入した製品群	特徴
<p data-bbox="415 411 601 451">JIB-4000</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="852 375 1671 489">・大電流イオンビームにより目的の試料をより早く、綺麗に加工することを実現<li data-bbox="852 511 1824 625">・加工ダメージの低減 低加速電圧での加工により加工ダメージが低減<li data-bbox="852 646 1414 761">・多彩なGIS ・最大2基のGIS装備が可能<li data-bbox="852 782 1538 832">・目的に応じたガスの使用が可能



ソリューションビジネスの強化

Global Solution Provider for Advanced Technology



6つの戦略を展開し2012年には以下数値を達成するべく展開中

戦 略	データムソリューション事業部 2012年数値目標
1 保守契約の強化拡大	60億円
2 部品・消耗品売上の販売拡大	20億円
3 設置環境事業の拡大	13. ⁹ 億円
4 周辺機器/WSの販売強化	42億円
5 新規ソリューションビジネスの展開	6千万円
6 受託分析事業強化	4. ⁵ 億円



新興国市場の深耕

Global Solution Provider for Advanced Technology

JEOL

	現状	今後の施策
中国	営業・サービスを一体化した現地法人の立上げ完了	・アプリケーションエンジニア、デモ体制の強化 ・現地人材の育成 ・分析機器製品の拡販
ブラジル	代理店展開から現地法人による展開に切替え完了	・既存新規ユーザーに対するサポート強化、新規ユーザーの開拓 ・JEOLブランドの確立
ロシア	現地事務所の法人化手続き中	・販売力向上による拡販 ・技術サポート力向上による競争力/利益率引上げ ・セールスチャンネルの拡大
インド	現地法人設立検討中	・要員派遣による販促強化 ・現地人材の育成
中近東	各国代理店網の再構築	・大型プロジェクトの早期取り込み



- 生産体制の見直し
 - ・山形クリエイティブ (YMCC) への量産シフト
(ミドルエンド・汎用製品を中心に、生産台数の約6割をYMCCへ移管)
 - ・国内外に最適なアウトソーシングを展開

- 資材調達費の削減
 - ・グループ各社、開発/設計部門との連携による原価改善活動展開

- 物流費の削減
 - ・運送チャンネルの選別、コストダウンの推進
 - ・内部スペースの活用による外部倉庫の賃借抑制



④ 各事業の動向とトピックス

Global Solution Provider for Advanced Technology

JEOL

1. 理科学・計測機器セグメント

透過電子顕微鏡(EM)

表面分析装置(SA)

核磁気共鳴装置(NM)

質量分析装置(MS)

走査電子顕微鏡(SM)

2. 産業機器セグメント

半導体関連装置(SE)

産業機器(IE)

3. 医用機器セグメント

医用機器(ME)

4. キャパシター事業



透過電子顕微鏡(EM)

Global Solution Provider for Advanced Technology

JEOL

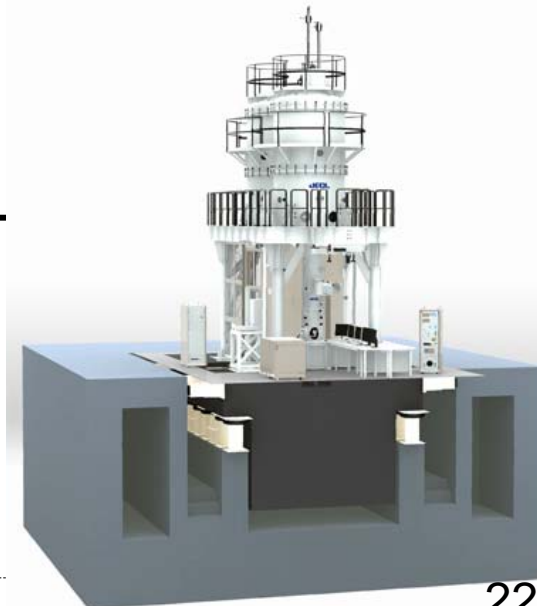
上期の市場動向と 下期の見通し

- ・上期の受注は、計画に対し順調に推移
- ・昨年度市場導入した JEM-ARM200F の販売は内外ともに好調
- ・ハイエンド装置の世界シェアNO.1を奪還

トピックス

- ・JEM-ARM200F 欧州一号機、仏Rouen大学にて開所式
- ・反応科学超高压走査透過電子顕微鏡システム JEM-1000K RS(1000kV TEM) を名古屋大学と共同開発
- ・産業界が要望する新触媒材料や燃料電池の研究開発等、環境科学技術の発展に大きく貢献するものと期待

JEM-1000K RS



表面分析装置 (SA)

Global Solution Provider for Advanced Technology

JEOL

<p>上期の市場動向と 下期の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none">・昨年同期と同水準の受注を確保・下期は、レアアース関連及び業績が好調な民間企業の設備投資に期待
<p>トピックス</p>	<ul style="list-style-type: none">・オージェマイクロプローブ JAMP-9500F が日本表面科学会「産業賞」を受賞<ul style="list-style-type: none">- オージェ分光法による化学状態分析の実用化が評価される



JAMP-9500F



核磁気共鳴装置(NM)

Global Solution Provider for Advanced Technology

JEOL

上期の市場動向と
下期の見通し

- ・上期は、民間需要の回復に支えられて好調に推移
- ・下期は、ノーベル賞(クロスカップリング)効果に期待

トピックス

- ・実用化レベル超高速(世界最高) 1mm固体プローブ開発について、科学技術振興機構(JST)、東京農工大学と共同ニュースリリース(7月)
 - 科学技術振興機構の産学イノベーション加速事業の一環「固体中の窒素原子を高感度測定できるNMR検出器開発」



JNM-ECS400

開発したNMR検出器



質量分析装置 (MS)

Global Solution Provider for Advanced Technology

JEOL

上期の市場動向と
下期の見通し

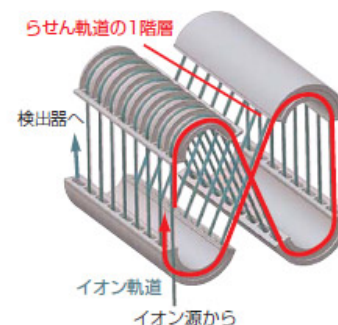
- ・ダイオキシン分析用に磁場形MSが健闘
- ・下期は、若手先端支援予算/絶縁油PCB簡易測定ソリューションビジネスおよびアジア地域の大型予算獲得に注力

トピックス

- ・新製品の JMS-S3000 の販促を強力に推進
 - 学会/展示会/セミナーでの発表で認知度を高め、ポリマー市場をはじめ、天然物/低分子量有機化合物/生化学分析分野へ積極的な営業活動を展開中



SpiralTOFの光学系



SpiralTOF JMS-S3000



走査電子顕微鏡 (SEM)

Global Solution Provider for Advanced Technology

JEOL

上期の市場動向と
下期の見通し

- ・国内外共に受注は昨年同期に比べ増加、特に海外の需要回復は顕著
- ・下期は、引き続き拡大基調にあるアジアを中心に、科学技術投資関連の商談に注力

トピックス

- ・新開発のマルチタッチパネルによる直感的に操作できるモバイルSEMを9月から販売開始
- ・自社製EDSとの統合を特徴とし、ローエンドSEM市場の世界的拡大ニーズに応える



InTouchScope
JSM-6010LA



半導体関連装置 (SE)

Global Solution Provider for Advanced Technology

JEOL

上期の市場動向と
下期の見通し

- ・半導体市況の回復を受けウエハプロセス設備への投資は旺盛だが、マスクプロセス関連は低調
- ・最先端22nmノード対応設備の選定が進んでいるが、投資できるメーカーが限られ台数も限定的
- ・直接描画装置に対する引合いは堅調で、下期も引き続き活況が見込まれる

トピックス

- ・4月のマスク関連学会 (PMJ) で、次世代マスク描画装置のフィールド精度に関し顧客と共同発表を行い、Best Paper に選定された



JEB-6300FS



JEB-3050MV

<p>上期の市場動向と 下期の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・光学膜市場は低迷しているが、新市場であるLED電極膜の蒸着用途市場は活況で、受注/売上ともに好調 ・タッチパネルの表面処理市場が活況
<p>トピックス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学/東洋炭素/JEOL の共同で、Gd(ガドリニウム)内包フラーレンの共同研究を行い成果を得た ・Gdは造影剤として使われるため、この成果を活かすことで人体への付加影響を大幅に緩和することができる ・当社の熱プラズマ手法は、原料の連続供給が可能なため、量産性に優れている



電子ビーム蒸着用電子銃
BS-60050EBS



高密度プラズマ発生用
内蔵形プラズマ銃 BS-80011BPG



直進形電子銃
JEBG-3000UB



上期の市場動向と 下期の見通し

- ・上期の生化学分析装置の国内市場は活況で、下期も引き続き堅調が見込まれる
- ・海外も、シーメンスへのOEM販売および新規ディーラーへの供給が堅調に推移すると見込まれる
- ・試薬/消耗品の売上も、装置設置台数の増加にあわせて順調に増加
- ・国内シェアNO.1を継続中

トピックス

- ・シスメックス(株)と共同プレスリリース「中国・アジア地区における生化学自動分析装置(JCA-BM6010/C)販売の開始について」を発表(7月)
- ・米アナハイム AACC 展示会に参加、大型実機を展示(7月)



JCA-BM6010
(1200テスト/時)

JCA-BM 8060
(9000テスト/時)

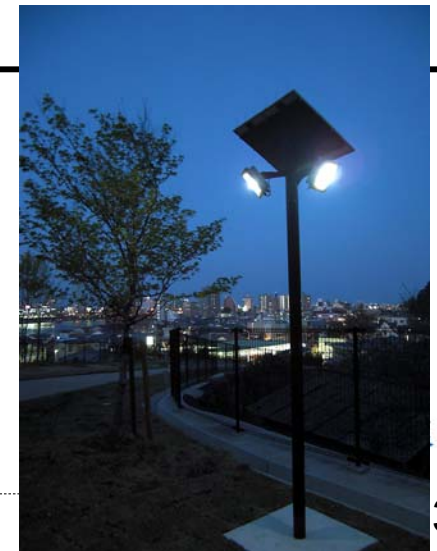


上期の市場動向と 下期の見通し

- ・長寿命で安全性の高いキャパシタが必要とされる市場が出来つつある
- ・急速充放電性能もリチウムバッテリーとの大きな差別要素で、太陽光発電/風力発電などの急峻な電力変動に対応できるバッテリーとして注目されている

トピックス

- ・11月4日、新工場量産開始の火入れ式を、事業パートナーである双日(株)、太陽誘電(株)と共同で行った
- ・当初計画であった9月からの量産開始は3ヶ月遅れたが、今後生産量を徐々に増やし今年度内には月産5,000セル体制を整える



資料取扱上のご注意

本プレゼンテーション資料及び弊社代表者が口頭にて提供する情報には、現時点で把握可能な情報から判断した、仮定及び所信に基づく記述が含まれています

今後、経済情勢をはじめ半導体市況や研究開発投資など、弊社の業績に影響を与える様々な既知または未知のリスクによって、ここに述べられている見通しと実際の結果が、異なったものとなることを否定できないことをご承知おき願います

* 弊社は本資料に記載された内容を更新する義務を負っておりません

